

令和 6年度予算見積調書

課室名：農業政策課
 担当名：企画・試験研究調整担当
 内線：4034 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p5	気候変動に対応した農業技術開発事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農業技術研究センター費	
事業期間	令和5年度～ 令和9年度	根拠 法令	農業改良助長法、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律		針路 分野施策	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2, 13
						1202	強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-4, 13-3
1 事業概要	<p>農業分野において気候変動の原因となる温室効果ガス削減対策「緩和策」と、既に生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害の回避・軽減対策「適応策」をより一層推進するため、技術開発・実証を実施する。</p> <p>気候変動に対応した農業技術の開発 6,128千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 暑さに強いが、寒さにも強い品種の育成などの気候変動の影響による被害の回避・軽減対策である「適応策」や省エネによる化石燃料の使用削減などの温室効果ガス削減対策である「緩和策」を推進するため、環境負荷低減や環境適応などを目的とした試験・実証を実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア バイオ炭利用による二酸化炭素貯留・作物生産性向上技術の開発 1,500千円 イ 水稲乾田直播栽培の冬期播種技術の開発 1,000千円 ウ 高温登熟耐性と障害型冷害耐性を両立したイネの育成 400千円 エ ユリの施設栽培における局所温度管理技術の開発 1,000千円 オ 施肥方法による一酸化二窒素排出削減効果の実証 500千円 カ ドローンによるリモートセンシング技術を活用した水稲の適正施肥の推進 1,728千円</p> <p>(3) 事業効果 温室効果ガス対策である「緩和策」「適応策」に係る技術の開発・実証がなされる。 【活動指標(アウトプット)】開発・実証の実施 6技術 【成果指標(アウトカム)】開発・実証の取組成果 6技術</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 国立研究開発法人や、都道府県公設試、大学、民間企業、農家等と連携をしながら課題解決のための試験研究を実施する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×6人=57,000千円								
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
決定額	6,128							6,128	△23,859
前年額	29,987							29,987	

事業内訳書

事業名	気候変動に対応した農業技術開発事業		
単位事業名	気候変動に対応した農業技術の開発	予算額	6,128千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	6,128	△23,529	
合計	6,128	△23,529	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	161	△31	現地調査等 161千円
需用費	4,570	△2,481	消耗品費 3,408千円 自動車燃料費、暖房燃料費 369千円 農業技術研究センター(本所、玉井試験場)光熱水費 793千円
役務費	784	△620	切手代、電話代、インターネット利用料 299千円 サンプル分析費、分析機器メンテナンス費等 205千円 賠償責任保険料、機体保険料 280千円
備品購入費	613	△20,397	画像処理用PC
合計	6,128	△23,529	